

鉛筆道：95 后青年が一人でライブ配信プラットフォームを開発

<https://www.pencilnews.cn/p/13402.html>

去年9月29日、李智維はWeChatのモーメンツに記事を投稿し、プロジェクト「趣直播」の資金調達の進捗状況を公表した。「最後に、今年21歳の私が、チームを率いて偉大な会社を創り上げることを願っています。」文末に残されたビジョンは、彼が資金調達の話をまとめた後の自信を示していた。

しかし、2ヶ月も経たないうちに、相手側の投資家が投資しないと言い出し、彼の資金調達の道は突然途絶え、YC インキュベーターへの入居申請も拒否されました。「たとえ一人でも進み続ける」と、李智維は再び WeChat のモーメンツで自分の執着を表明しました。そして、ちょうど先週、彼は予想外に元 Jumei 副総裁の葉飛からのシードラウンド投資を得ることができました。

趣直播は、知識コンテンツの有料ライブ配信プラットフォームとして位置づけられています。人脈を活用して、李智維はIT技術分野のエキスパートを招き、ビデオライブ配信を行っています。ユーザーはライブ配信の料金を支払うことで、趣直播のWeChat公式アカウントや公式ウェブサイトで視聴することができます。

現在、趣直播には2万3千人の有料ユーザーがあり、平均して1回のライブ配信には500人が参加し、平均チケット価格は5元です。プロジェクト全体の収益は12万元で、利益は約4万元です。

注: 李智維は文中のデータが正確であり、その真実性について責任を負うことを約束します。Pencil News は録音速記をバックアップしており、内容の客観性を保証します。

95 後の中退起業

カメラの前で、李智維は一人で部屋に座り、コンピュータの画面を見つめながら、絶えず言葉を発しています。物理的な空間では、彼は孤独ですが、ネットの世界では、400人の友人と交流しています。

それは昨年の9月20日のことで、李智維は初めてのライブ配信を行い、ネットユーザーに自身の起業体験を共有しました。2時間の配信の中で、彼は慎重に一つ一つのコメントに返信しました。みんなが違う場所にいるにもかかわらず、彼は「本当に顔を合わせて話しているような感覚」を覚えたと言います。

中学生の頃から、李智維はコードプログラミングを学び始めました。当時、李開復や李笑来などの自伝書が、彼の心に起業の種を蒔きました。

プログラミング学習に多くの時間を費やしていたにもかかわらず、李智維は2013年に北京林業大学に合格しました。しかし、1年後、彼は「大逆不道」とも言える行動を起こしました。

彼は大学1年生の夏休みにLeanCloudでのインターンシップの機会を得て、2ヶ月後に退学し、同社で働くことを決めました。「実は高校時代から、大学に行きたくないと思っていました。」彼にとって、外見や表面的なことは重要ではなく、自分が毎日全力で頑張っているかどうかが重要だと考えています。

両親の反対に押され、李智維は一時的に休学することを決めました。1年間の休学中、彼はキャンパスを離れ、自分でアパートを借り、毎朝北京の馬甸橋に出勤しました。当時、彼の月給はすでに1万5千元に達していました。

一年が経ち、李智維は学校に戻って退学手続きを済ませた。両親は依然として支持してくれなかつたが、今回は彼は自分の心に従うことに決めた。「私は小さい頃からバーに行ったり、喧嘩をしたりすることはませんでしたが、自分の考え方を持って努力することを選び、両親の反対にも慣れていきました。」

彼は決まりきった仕事やコードを書くことを望んでいなかったため、会社を辞めました。その後、李智維は数人の友人と起業し、プログラミング業界のエキスパートとユーザー（主にプログラミング初心者）を結びつけるビジネスを始めました。一定の料金を徴収し、エキスパートたちにユーザーの作品を見てもらい、アドバイスを提供するというものです。彼自身が製品開発を行い、友人がプロモーションを担当し、プロジェクトは立ち上げから1ヶ月で2000人以上の登録ユーザーを獲得しました。

しかし、半年間の奮闘の末、李は去ることを決意しました。一方では、資金的な支援が不足しており、前進が困難でした。他方では、製品に対する需要が非常に弱く、チームの将来の方向性が不透明でした。

若いうちに多くの経験を積もうという考えを持ち、2ヶ月後、李智維は新しい起業の道を模索し始めました。頭に浮かんだ賃貸プラットフォームなどのアイデアは、彼によって次々と却下されました。「自分が得意とする分野で、小さな技術製品を作るべきだ。そうすれば成功の可能性が高まるだろう。」

半年で2.3万人の有料ユーザーを集める

7月末、李智維の起業の方向性がほぼ固まりました：知識有料配信プラットフォーム「趣直播」を作ることです。高校時代からプログラミングコンテストに参加してきた彼は、業界のトップクラスのリソースをいくらか蓄積してきたと自覚しており、自身の開発レベルが一つの製品の運営を支えるに足ると考えています。

次の1ヶ月半、彼はコードを書き、製品を作りながら、あちこち奔走して会社を設立しました。酷暑の夏、紫禁城は熱気に包まれ、李智維の奔走する足には水虫ができました。

彼は1ヶ月も引き延ばし、製品がほぼ完成してからやっと病院に行きました。9月20日、李智維は趣直播で初めてのライブ配信を行い、自身の起業経験を共有しました。

◆ 趣直播はデスクトップのウェブページを通じてライブ配信を行います。

ライブ配信の前に、彼はWeChatの「朋友圈」で宣伝を行いました。興味を持ったユーザーは、平方根科技のWeChat公式アカウントや公式ウェブサイトのページから登録・ログインし、料金を支払うことで視聴することができました。その夜、400人のユーザーが画面越しに李智維の経験談に耳を傾け、弾幕（コメント）を通じてコミュニケーションを取り、適時に投げ銭（打賞）することもできました。

2、3日ごとに友人を招いてライブ配信を行い、李智維は最初に自分のリソースから人脈を掘り起こしました。「私は技術出身で、業界内でいくつかの大物技術者との人脈を築いてきたので、まずは技術ライブに集中して、一点突破を図りたいと思います。」

ライブ配信には無料と有料の2種類があります。有料の回の平均チケット価格は約5元で、李智維のシェアライブなどは無料で参加できます。

唐巧は趣直播で最も人気のある配信者です。iOS界で有名な大Vとして、彼は12月のある配信で1800人の有料ユーザーを引きつけ、コメントが絶え間なく流れました。

◆ 趣直播の一部アンカーの紹介

ユーザー間のさらなるコミュニケーションを促進するため、李智維はWeChatのグループを設立し、そのQRコードをライブ配信ルームに掲示しました。WeChatグループ内では、ライブ配信の情報だけでなく、ユーザー同士の自由な交流も行われています。現在、趣直播には11のWeChatグループがあり、各グループには500人のメンバーがいます。

先週、李智維は元Jumeiの副社長である葉飛からのWeChatメッセージを受け取りました：「口座番号は？お金を振り込むよ。」とても感動し、また幸運に感じました。李にとって、周りの優秀な友人からの投資を得ることは、彼に対する一種の肯定だと考えています。

「この半年間、葉さんと互いに助け合ってきました。彼は私にアドバイスをくれ、私は彼のために技術のエキスパートを探したりしました。彼はエンジェル投資もしているので、もし彼が私に投資してくれなかつたら、本当に誰も投資してくれないかもしれません。」李智維は苦笑いを浮かべながら話しました。

シードファンドの支援を受けて、李智維は自身の構想に従ってチームを拡大し、WeChatコミュニティの構築、インフルエンサーリソースの拡充、そしてライブ配信の回数を増やす予定です。これまでに、趣直播は80回以上の共有イベントを開催し、累計2万3千人の有料ユーザーを獲得し、総収益は12万元、利益は約4万元に達しています。

プロジェクトは現在、エンジェルラウンドの資金調達を求めており、予想金額は100万～300万元です。